平成１７年6月１０日

各大学院（理工学研究科を除く）研究科長
大学院理工学研究科各学系長
各 附 置 研 究 所 長
附属科学技術高等学校長　殿
保健管理センター所長
各学内共同研究教育施設長
事　　務　　局　　長

総合安全管理センター長
下 河 邉　　明

火災及びガラスによる傷害事故の防止について

研究室等における安全管理・事故防止については、日頃より格段のご協力をいただき、ありがとうございます。当センターにおいても、災害防止の徹底及び災害発生時の迅速な対応を心がけているところです。

しかしながら、最近学内においては実験機器の不良、または誤作動が原因と思われる火災、及び実験器具等の取扱い不注意による学生の傷害事故が頻発しております。

このような現状に鑑み、今後は特に下記の点にご留意いただき、これまでにもまして安全教育・安全管理にご配慮をお願いいたします。

また、火災発生の際、可能な場合には初期消火を行い、速やかに消防(119 番)及び守衛所(大岡山 4000 番、すずかけ台 5922 番、田町 8532 番)へ通報願います。

記

１．熱を発生する実験装置・機器
　原因：　サーモスタット及びオン・オフ接点の経年劣化による不良
　対策：１）使用後の確実な電源断（コンセントを抜く、ブレーカーを落とす。）
　　２）５～７年程度以上使用した機器の廃棄と新品への交換
　　３）取扱説明書の再読・再確認

２．ガラス製の実験器具類
　原因：１）洗浄時及び取り扱い時の破損
　　２）不注意
　対策：１）慎重に取り扱うよう学生等への再指導
　　２）取り扱い時の手袋着用
　事後措置：ガラスによる切り傷は、深い場合があり、神経切断の可能性があるので必ず医師の診察を受けること

なお、【健康・安全手帳】の３２８ページ以降に付近の医療機関と指定病院を掲載してありますので、夜間・休日等緊急時にご活用ください。